

マニュアル



from haze**base**



日本輸入代理店 株式会社 ザ・ロック

内 容

- 1 x ピッコラ本体
- 1 x 250ml 空ボトル、クイックコネクター付
- 1 x 3,4Ah / 12V AGM バッテリーホルダー付
- 1 x バッテリーチャージャー
- 1 x キャリーケース
- 1 x マニュアル

受取時に箱の中身を確認してください。

目 次

1. 前書き	3
2. 安全	4
3. 各部名称	5
4. 準備	7
4.1 設置場所を選ぶ	7
4.2 タンへのク充填	7
4.3 ホースカバー	7
5. ピッコラの機能	8
5.1 ディスプレイ	8
5.2 スタンドアロンモードの操作	8
5.3 モードの選択 (5 pin XLR connectors)	9
5.4 DMX / RDMによる操作	10
5.5 ケーブル・リモートによる操作 (optional)	10
5.6 ワイヤレス・リモートによる操作 (optional)	10
5.7 電源 OFF	11
6. バッテリーパック	12
6.1 バッテリーパックの交換	12
6.2 バッテリーパックの取扱	12
6.3 バッテリーパックの充電	13
6.4 安全上の注意	13
7. 気化器	13
7.1 気化器の交換	13
8. お手入れとメンテナンス	15
9. トラブル・シューティング	16
10. テクニカル・データ	17
11. 保証期間	18

1. はじめに

Piccola は、エンターテイメントでのスモーク効果としてだけでなく、フローテストやリーク検出にも使用できる電池式のスモークマシンです。最短の加熱時間（1秒）で、軽量（2,6kg）のコンパクトな筐体を実現しました。

Piccolaは、スモークのプロセスが開始された時のみバッテリーからエネルギーを取得しています。このプロセスは次のスキームに従って実行されます。

1. ヒートアップ（約 1 秒）
2. ポンプが専用液を吸い上げ、煙が発生します。
3. フォローアップが10秒（ポンプがOFFでも加熱はまだアクティブ）

スモークONのトリガーは、ハンドルのボタンもしくは5pinXLRソケットを介して行うことができます。これには3つの異なるモードがあります。

1. DMX-512
2. ケーブル・リモート (optional)
3. ワイヤレス・リモート (optional)

注意!!

Piccolaを使用していないときは、バッテリーと本体は未接続にする必要があります。長期間Piccolaを保管する場合は、バッテリーを定期的に(少なくとも6か月ごとに)充電する必要があります。放電したバッテリーは保管せず、充電してください。

2. 安 全

fog nozzleから非常に高温の蒸気が出ます。火傷する危険があります。

噴霧中は 非常に高温の液滴がノズルから出てくる場合があります。

フォグの吐出口から1.5m以内に人や熱に弱い物体を配置することはできません。

運転中または作動中、フォグノズルをいじらないでください。本体は熱に敏感でない場所に設置する必要があります。可燃性および熱に弱い物体まで60cm以上の距離を維持してください。

使用する液体にはグリコールが含まれており、グリコールは青みがかったほとんど見えない炎で燃えます。従って直火などの強い発火源に向かって煙を出さないでください。電源が接続されている時に本体を分解しないでください。動作中に液滴が時々漏れる可能性があります。従ってこれらが人々にとって危険にならないよう注意する必要があります。

フォグ吐出口ノズルから3mの安全距離を維持してください。専用液を摂取しないでください。

機械や専用液は子供の手が届かないところに設置、保管してください。眼に入った場合は水で十分に洗い流してください。誤って飲み込んだ場合は医師に相談してください。

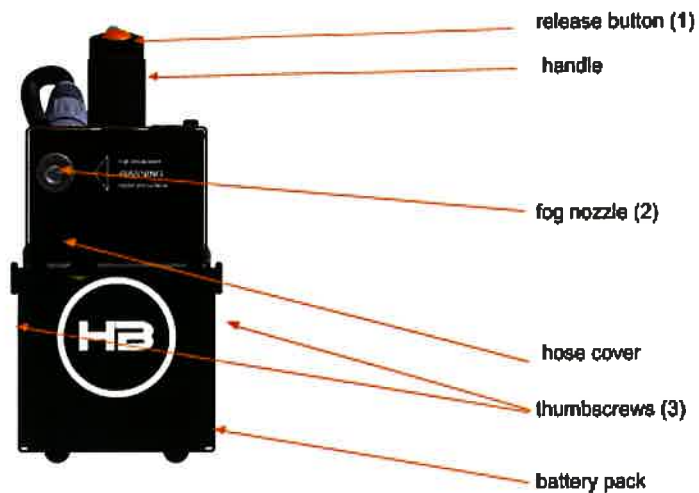
こぼれたり飛散した液体は、滑りの危険を引き起こす可能性があります。常に乾いた布を携帯し、きれいに拭き取ってください。

視界が2mを下回らないようにしてください。噴霧している場所の責任者はあなたになります。生成されたフォグは、煙警報器を作動させる場合があります。

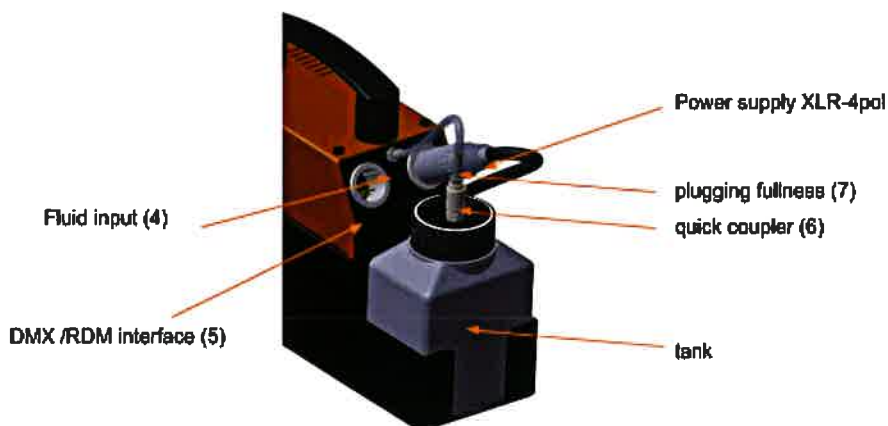
この人工的な霧を生成する方法は、ほとんど無害であり、世界中のエンターテインメントで使用されています。このフォグの使用により人に健康的な危害が加えられた事例はありません。しかしながら、病気の人、以前に気道や呼吸器を傷つけ治療した人、煙によるアレルギーの傾向がある人は、このような人工的な霧を避けてください。

3. 各部名称

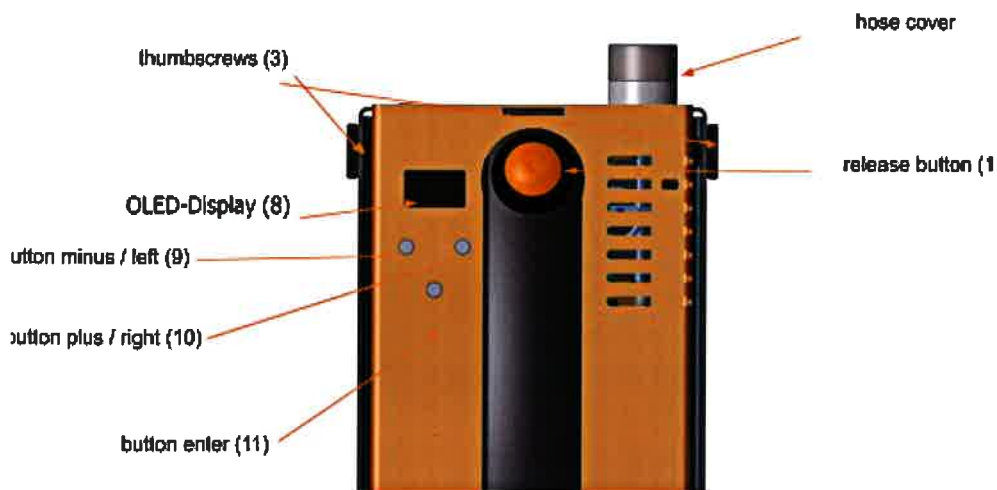
フロント(前面部)



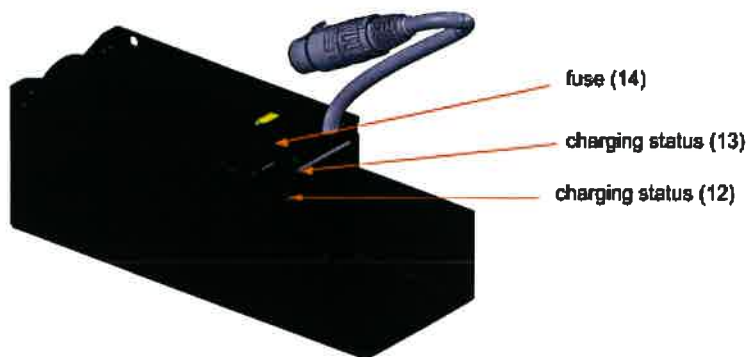
リア(後面部)



トップ(上面部)



バッテリーパック



4. 準備

4.1 設置場所を選ぶ

Piccolaを操作する場所は、下記条件を満たさなければならない。

- 換気が良好な場所
- 振動や衝撃を受けない場所
- 不燃性の場所
- 可燃物から十分離れていて、周囲温度が5℃～45℃まで

4.2 専用液の充填

1. 必要に応じて、2つのXLRプラグを外します。
2. クイックカプリング(6)をボトルの方へ押します。
プラグイン・ソケットが解除されクイックカプリングから取り外せます。
3. 液ボトルを取り外します。
4. ボトルのキャップを外し、ベースBフルードを入れます。
5. キャップを閉めて、ボトルをホルダーに戻します。
6. プラグインソケット(7)をクイックカプリングに差し込みます。しっかりと差し込まれると“カチツ”と音がします。

4.3 ホース

Piccolaには15mmホース用のホースカバーが付いています。

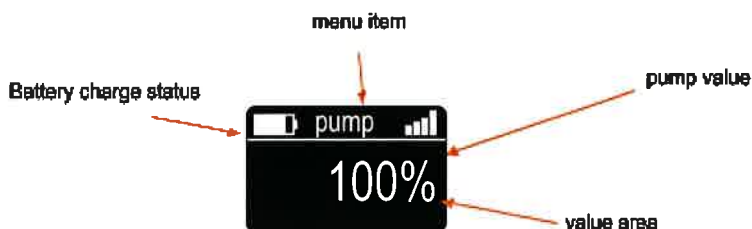
温度に対応できるホースのみを使用してください。ホースカバーはデバイスの磁石により保持されています。ホースカバーの突き出たリグは、センタリングに使用されます。これはフォグ噴霧口にピッタリとはまります。

フォグがホース内を通過する時間が長くなるほど、ホースが熱くなり、フォグの質が低下します。（灰色がかった煙になる）ホースカバーのホースにある小さな通気口、これを改善するのに役立ちます。それでもホース内に結露が発生するので、使用するたびは除去しなければなりません。

5. piccolaの機能

Piccolaは、直接加熱された蒸発器を備えた電池式スモークマシンです。隙間や風穴を見つけるために少量のフォグも生成でき、またエフェクト効果としても使えます。フォグの量は25%から100%まで、25%刻みで設定できます。シングルショット・モードも実装されています。

5.1 ディスプレイ



Piccolaの操作は、3つのボタン(マイナス/左, プラス/右, エンター)とOLEDディスプレイを介して行われます。ディスプレイ上部の左側にバッテリーの充電状態が表示されます。選択したフォグの量が右上に表示されます。選択したメニュー項目が上部中央に表示されます。それぞれの値はディスプレイ下部に表示されます。

メニュー項目が選択されている場合、(上図の"Pump"),それぞれの値はマイナス/左ボタン、プラス/右ボタンで変更できます。メニュー項目はエンター (11)ボタンでアクセス、または終了できます。

Piccolaは、リリースボタン(1)または他の3つのボタンで操作します。(9-11)。

5.2 スタンドアローン・モードによる操作

最も単純な制御方法はスタンドアローン・モードになります。これはリリースボタン(1)から開始できます。

リリースボタン(1)を使用した場合は、あらかじめ設定されたフォグの量に応じて、すぐにフォグの処理が始まります。リリースボタンを離すとすぐに、再加熱プロセスが噴霧ノズル内を空にし始めます。10秒後、Piccolaは再びオフになり、バッテリーの電気を使用しなくなります。

スタンドアローン・モードでは下記の画面が表示されます。



メニュー項目はまだ選択されていません。マイナス/左(9)ボタンとプラス/右(10)ボタンでメニューを切り替えることができます。メニューの順序はPump→Mode→Infoになります。

エンターボタン(11)を使って、メニュー項目のポンプ設定に切り替えます。ここでは次の設定を行うことができます。single→25%→50%→75%→100%。シングルショットの設定では、3回のポンプブローのみが生成されます。これにより小さな煙のバーストが発生します。2回目の煙のバーストを生成するには、リリースボタンを放してから、もう一度押す必要があります。このモードでリークテストを行うことができます。

5.3 5pin XLRソケットのモード選択

次のメニュー項目は、5pin XLRソケットのモード設定です。このメニュー項目に移行すると、次のオプションを使用できます。

Manual→DMX→Remote.

ソケットはManualモードでは非アクティブ化されます。リリースボタンでのみ噴霧可能となります。

DMXモードではXLRソケットはDMX-512信号を受信するために使用されます。さらにPiccolaはRDM対応であるため、DMXアドレスRDM変更対応の照明卓を使用することもできます。RemoteモードではPiccolaを有線リモート、または無線のリモート（別売り）で噴霧を行うことができます。manualモード以外を選択すると、メインメニューが展開し対応する項目が表示されます。

5.4 DMX / RDMによる操作

メインメニューでDMXが表示されています。

DMXを選択するとDMXアドレスの設定画面が表示されます。DMXアドレスは、マイナスボタン(9)とプラスボタン(10)で変更します。アドレスは2秒後に自動的に適用されます。これはアドレスを点滅させることで示されます。有効なDMX信号を受信すると小さな"R"が表示されます。PiccolaはDMX受信のためにバッテリーから必要なエネルギーを消費するため、最後に受信したDMX信号の1時間後にスイッチオフになります。これはバッテリーを節約します。



5.5 XLRリモートによる操作（別売）

リモコンの"Remote" 項目がメインメニューに追加されました。この項目を選択すると、接続されているリモコンの設定に移動します。リモコンがまだ接続されていない場合は、ディスプレイに"no remote found" と表示されます。リモコンを接続すると"analog found" と表示されます。有効な信号を受信すると小さな"R"が表示されます。リモコンのノブを10%以上回してスイッチをONにすると噴霧が始まります。出力は25%, 50%, 75%, 100%と設定できます。



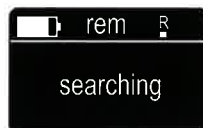
5.6 ラジオ・リモートによる操作（別売）

ラジオ・リモートを接続すると"radio found"と表示されます。フォグはプログラムされたハンドトランスミッターのボタンにより実行されます。噴霧量は本体に設定された出力を再生します。ラジオ・リモートを使用する場合、複数のハンドヘルド送信機を受信機に覚えさせることができます。



ハンドヘルド送信機については、メニュー項目の"add sender"を有効にしてください。するとディスプレイに"searching"と表示されます。次にハンドトランスミッターのボタンを押してください。ハンドヘルド送信機が認識される

とディスプレイに"adding"と表示されます。次にハンドトランスミッターのボタンを選択して続行できます。



これを行うにはプラスとマイナスボタンを使い、1から4を選択します。設定値は2秒後に自動的に保存されます。

設定ボタンが確認されるとPiccolaは噴霧をトリガー 出来るようになります。

ハンドヘルド送信機をメモリーから削除することも可能です。これを行うには"del all sender"メニューを選択します。全てのハンドヘルド送信機がメモリから削除されます。



5.7 Piccolaのスイッチを切る

Piccolaは、バッテリーの寿命を延ばすため、噴霧後に自動的にオフになります。ただし、"Manual" 以外のモードが設定されている場合は、"Off" メニュー項目を使用してPiccolaをオフにすることができます。マシンの電源を入れることができるのは、本体のボタンを使用する場合のみなので 御注意ください。



5.8 マシン情報

“Info”メニュー項目でシリアル番号とファーム・ウェア・バージョンを確認することができます。



6. バッテリーパック

付属のバッテリーパックには、メンテナンスフリーの12V鉛ゲルバッテリーが含まれています。これは場所に関係なく使用できます。Piccolaには4-pinXLRで接続されます。充電器は低電圧ソケットを介して接続されます。適切に使用すると、バッテリーは数年間その容量を保持し、数百回の放電/充電が行えます。

6.1 バッテリーパックの交換

バッテリーパックを交換するには、まずバッテリーを本体から外します。(4-pinXLRプラグ) 次に液ボトルに繋がるホースを外し、バッテリーパックから液ボトルを外します。次に2本のネジ(3)を緩め、本体をバッテリーパックから取り外します。新しいバッテリーパックは逆の順で取付けます。

6.2 バッテリーパックの取扱い

鉛ゲル電池は、手入れやメンテナンスがほとんど必要ないエネルギー貯蔵装置です。それでも誤った使用と保管は耐用年数を大幅に短縮させる可能性があります。

従って：バッテリーを保管したまま放電させないでください!!

その結果、バッテリーは数週間以内に容量の大部分を失う可能性があります。バッテリーを長期間保管する場合は、定期的に(少なくとも6か月毎に)充電する必要があります。

安全上の理由から、輸送中は常にバッテリーを本体から外してください。

6.3 バッテリーパックの充電

付属の電源ユニットを使ってバッテリーパックを充電してください。
充電中は充電インジゲーターが赤く光ります。充電が完了すると緑に変わります。

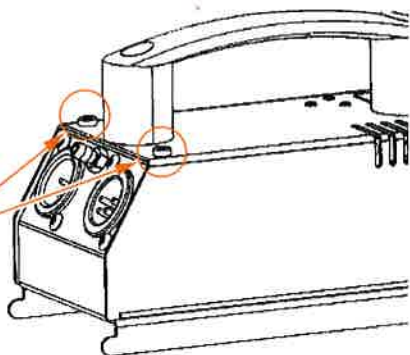
6.4 安全上の注意

- バッテリーパックをショートさせたり、ケーブルを短くしたり変更したり、しないでください。
- バッテリーは常に乾いた清潔なハウジング内で操作してください。
- バッテリーは絶対に分解しないでください。大変、危険です！！
- バッテリーを火や高温状の何かにさらさないでください。爆発する可能性があります。
- バッテリーを熱源から遠ざけてください。
- バッテリーの温度は45℃を超えてはなりません。

7. 熱蒸発機

7.1 熱蒸発器の交換

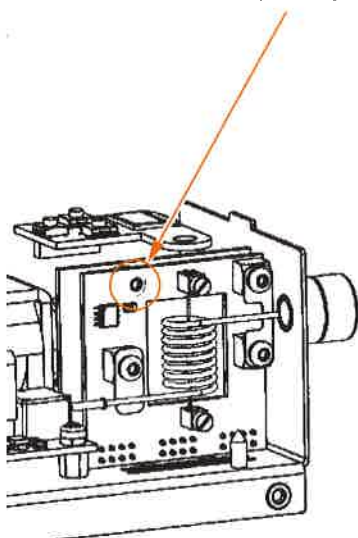
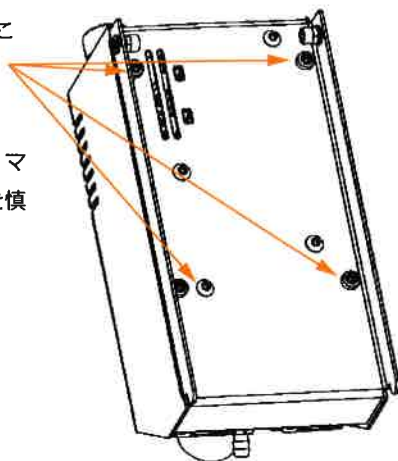
煙の量が減少した場合は、熱蒸発器を交換する必要があります。
これを行うにはカバーの2本のネジを緩めてください。



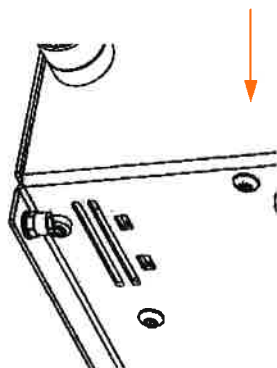
その後、本体の下側にある4本のネジを外すことができます。

次にPiccolaのフタを慎重に取り外します。マザーボードのコネクタからリボンケーブルを慎重に取り外します。

次に熱蒸発器からネジを外します。



これで2つの開口部から、小さなドライバーを使って熱蒸発器を解放できます。



次に古い熱蒸発器から液体ホースを取り外し、本体から古い蒸発器を取り外します。

乾いた布を使って本体内部の液体残留物を取り除きます。

次に新しい熱蒸発器を逆の順で本体に取付け、ハウジングを閉じます。新しい熱蒸発器は直ぐに使用できます。

8. 手入れとメンテナンス

必ず Piccola の液の残量を確認してください。液ポンプを空焚きするとポンプは故障してしまいます。

A 本体を直射日光にさらしたり、直射日光による過熱は避けてください。許容周囲温度は、技術データに記載されています。漏れた液体はすぐに拭き取ってください。

同じ液ボトルを繰り返し使う場合は、ボトル内を洗い、ペーパータオルで濡れた箇所を拭き取り、綺麗にしてから液を補充してください。これにより熱蒸発器や液ポンプに何らかの不純物が入る可能性を削減できます。

必要に応じて本体の汚れを拭き取るようにしてください。また煙吐出口の周辺は汚れがたまることが多いので、時々確認し、汚れていたら拭き取ってください。

注意!! 熱蒸発器は清掃する必要はありません。また市販されている洗浄液は熱蒸発器に損傷を与える可能性があるので、絶対に使わないでください。この場合、保証は無効となります。

9. トラブル・シューティング

Piccola が煙を出さない

- 外部制御を確認してください。
- バッテリーを確認してください。
- 液の量を確認してください。
- 液を吸い上げているか確認してください。
- 液チューブに傷や切れ目がないか確認してください。

Piccola が突然スイッチOFFになる

- バッテリーが空の場合、"empty battery" という表示が出ます。
- 熱蒸発器の温度ヒューズに欠陥がある場合、"HEM Error" という表示が出ます。
- ポンプが空転し液を吸わない。空焚きは絶対にしないでください。
- 補充液のチェック
- 液ホース、液ボトルのフタは必要に応じて新しい物と交換してください。

10. テクニカルデータ

機能/原理	蒸発式fogマシン、直接加熱、 バッテリー駆動
電源	200W, 12V DC
暖気時間	1 秒
液タンク	250mlのボトルを本体に収納
fogの量	25%, 50%, 75%, 100%, シングルショット で調整可能
バッテリーライフ	25%噴霧で最大30分、50%噴霧で最大10分 75%噴霧で最大6分、100%噴霧で最大4分
液燃費	25%噴霧で1.5 ml /分、50%噴霧で3.0ml/分 75%噴霧で4.5ml/分、100%噴霧で 6.0 ml/分
アシストしてるプロトコル	DMX-512, RDM
バッテリー	lead-gel, 12V / 3.4Ah
充電アダプター	15W / 18V DC, (90 - 264V)ワイドレンジ 入力
専用液	base*B
別売りアクセサリ	ラジオ・リモート、有線リモート(5-pin XLR) 5-pin XLRケーブル
重量	2.6kg
サイズ (LxWxH)	203 x 79 x 163/mm (バッテリー、ボトル ホルダー含む)

11. 保証条件

御購入いただいたPiccolaは、御購入日から1年間は、以下条件に従って無償で修理をいたします。保証を提供いたします。

1. 以下の条件(2. ～6.)に従って無料で修理します。
本体の損傷または欠陥について、購入日より1年以内であれば無償で修理いたします。ただし、過失により本体を落としたり、マニュアルに沿った使い方をしなかった場合、保証の対象外となります。保証義務は、天災による影響、異常な環境条件や不可抗力によって引き起こされるものではありません。
2. 修理は欠陥のある部品を直すか、新しい部品に交換するか、弊社で判断いたします。修理を依頼された機材は、弊社の都合により、直ぐに修理を始められない場合があります。また代わりの機材の貸出も行えない場合もあります。予め、御了承ください。保証期間は機材購入日から1年以内となります。
3. 当社が認可していない人、当社が介入していない会社によって修理が行われた場合、保証は失効されます。推奨されていない液体を使用した場合も保証は失効されます。不適切な取扱い、操作手順の無視、力による損傷なども同様に保証は失効されます。
4. 消耗品の劣化によるパフォーマンスの減少についてのクレームは受け付けません。特に液ポンプや熱蒸発器などの流体搬送部品は消耗部品となります。
5. 保証サービスにより保証期間が延長されたり、新しい保証期間が開始されたりすることはありません。本体と同時に購入されたスペアパーツの保証期間は本体の保証期間と同時に終了します。
6. 購入日、納品日から6か月以内に、本機の故障や欠陥を是正できない場合、提案した改善策が拒否された場合、無償で新品と交換させていただきます。
7. その他の請求、特に機器の外部で発生した事故による損傷は、交換や無償修理の対象外となります。



輸入総代理店
株式会社 ザ・ロック

〒214-0014
神奈川県川崎市多摩区登戸133
Phone: 044-930-5223
www.the-rock.co.jp
